



令和6年2月1日
横浜市立みなとみらい本町小学校
校長 小正 和彦
保健室

寒いが続いていますが、校庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿を見て、子どもは風の子だなあとしみじみ思います。保健室でも暑い時期の方が、だるさを訴える来室が圧倒的に多く、寒くなってからの方が、熱はないけどなんだか体調不良という訴えが減りました。インフルエンザも本校では数名程度で落ち着いております。このまま冬を乗り越えられたらいいなと思います。

出席停止に伴う医師の診断書は必要ありません

インフルエンザや、新型コロナウイルス感染症など、出席停止となる疾患の診断がついた際、医師の診断書が必要かのお問い合わせをいただくことがありますが、必要ありません。

横浜市内の公立学校では、文書料の負担軽減のため、保護者の方に医師から指示された病名や欠席期間、診断を受けた病院名を記入していただいております。

本校では登校後に、「学校感染症治癒届」の書類をお子さまに渡しております。ご家庭で必要箇所をご記入していただき、養護教諭宛に提出していただいております。



学校保健委員会開催のお知らせ

令和5年度第2回学校保健委員会を次の通り行います。保護者の方も是非お越しください。（詳細はメールで配信しました「学校保健委員会への参観・参加募集について」をご確認ください。）

【日時】令和6年2月26日(月)

【時間】14:15~15:15

【場所】2階ふれあいルーム

【テーマ】「MM☆アサーティブコミュニケーション②」
～上手な断り方・友達に「いや」を伝えるには～

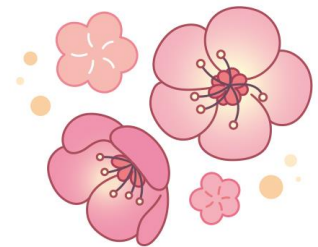
【講師】本校スクールカウンセラー 北城 かなえ先生

【内容】講師より「上手な断り方」の講話をいただいた後、グループワークを行います。

ワークに参加していただける保護者の方、大歓迎です！

全体の様子を参観だけでも結構です。お気軽にご参加ください。

担当：養護教諭（半澤）

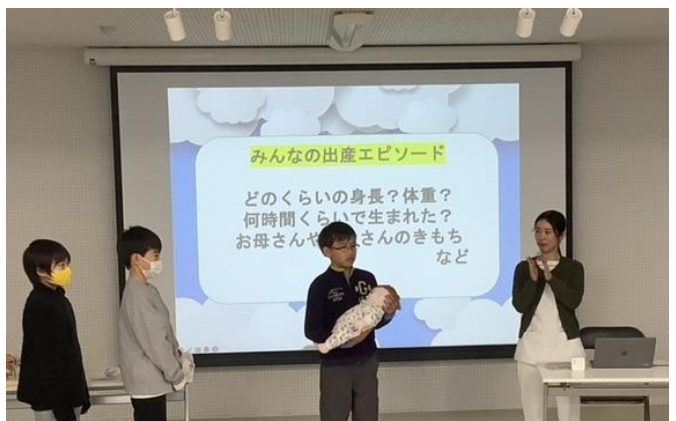
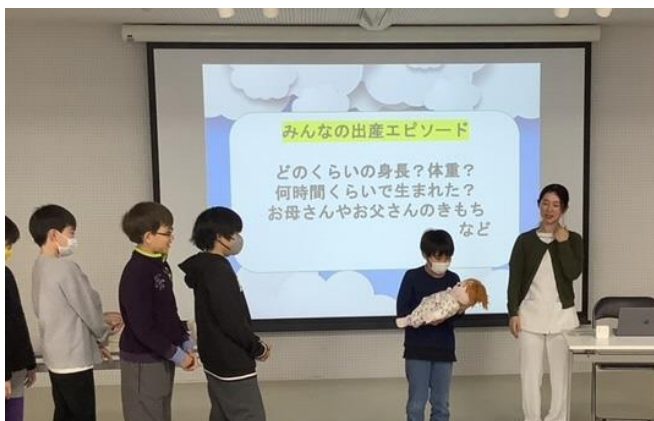
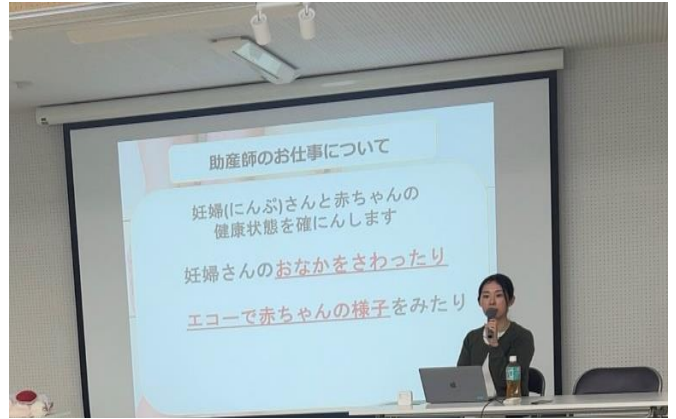


5年生 いのちの授業

1月15日、5年生対象に「いのちの授業」を実施しました。講師に、愛育病院助産師として3000人以上の分娩介助経験がある中^{あたりゆりえ}友里恵さんをお招きしました。助産師の仕事や、出産のときのお母さんやお父さんの様子、出産前のお母さんの期待と不安でいっぱいな気持ちなどを、実際の現場の写真を見せてもらいながら、お話ししてもらいました。生まれる前からたくさんの方がサポートしてくれていて、持ち望まれて生まれてきたということが子どもたちへ伝わったと思います。

後半には、「自分の出産エピソード」を何人かに発表してもらい、生まれたばかりの赤ちゃん人形の抱っこ体験をしました。みんな本当の赤ちゃんのように優しく扱ってくれました。子宮の中の胎児のエコー動画や、実際の胎児心拍音を視聴することができ、驚く様子が見られました。また、1組担任の田中より、出産前後のお父さんの気持ちを聞くことができ、身近な先生の子どもの写真を見て、先生ではなく父としてのお話を真剣に聞いていました。

一人ひとりのいのちが、かけがえのないものと感じ、自分はもちろんまわりの人の心も体も大切にできるよう考え、行動できるといいなと思います。



児童の感想（一部抜粋）

- たくさんの方が支えてくれたから今いのちがあることを学んだ
- 「ありがとう」と、お母さんにも伝えたいになりました
- お母さんがここまで育ててくれたこと、それ以前に産んでくれたことに感謝しなければと思いました
- 赤ちゃんを産んだ後のお母さんはすごく幸せそうな顔だったから、助産師さんとかお医者さんとかでなくても将来は人に関わりその人が笑えるような仕事をしたいです